

成績評価基準

1. 評価の方法

成績の評価は、各学期末に行う。ただし、通年科目は学年末とする。

2. 評価の基準

成績の評価は、次の基準による。

評 価	A	B	C	D
評 点	100 点から 80 点まで	79 点から 70 点まで	69 点から 60 点まで	60 点未満
判 定	合 格			不合格

3. GPA制度

成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として総合平均点(いわゆる Grade Point Average に相当するもの。以下「GPA」という。)を用い、以下の計算式によって算出する。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

グレードポイントは、上記表中のAを4、Bを3、Cを2、Dを0とする。また、再試験で単位の認定を受けたものをC1とし、1のグレードポイントを与える。

※GPA制度は看護福祉学部で活用しています。

【GPA の活用について】

本学では、学生の学修状況を適切に把握し、早期の支援につなげるため、GPA を指標とした学修指導を行っています。GPA を用いて学修上の課題を明確にし、教員による助言や指導を通じて、学生の学修成果の向上を図ることを目的としています。

学期における GPA が 1.0 未満となった場合、所属学科の担任等との面談を行い、学修上の課題整理や履修計画の見直しなど、個別の学修指導を受けることとしています。さらに、GPA1.0 未満が2期連続した場合には、学科長との面談も実施し、より踏み込んだ支援を行います。

なお、3期連続して GPA1.0 未満となり、学業の継続が困難であると判断される場合には、退学勧告が行われることがあります。